

研究課題名	原発性肝癌患者における治療成績についての検討に関する研究
研究期間	実施許可日 ～ 2035 年 12 月 31 日
研究の対象	1991 年 1 月から 2035 年 3 月の間に、広島大学病院消化器・移植外科で原発性肝癌に対して肝切除術を受けられた患者さん
研究の目的・方法	肝細胞癌をはじめとする原発性肝癌の多くは多くは 5 大癌疾患の一つであり、癌関連死においても 2 番目に多く、比較的予後に大きく影響します。臓器不足の結果、肝移植は限定されており、外科的切除が治療において最も効果的です。根治切除後も高い再発率の観点から、長期予後は近年の治療進歩にも関わらず、いまだ十分ではありません。したがって、信頼性のあるシンプルな予後マーカーを用いて予後の悪い可能性のある患者を同定することは予後を改善するために必須といえます。 本研究は、該当期間に当てはまる症例に対して診療録（カルテ）情報を調査して行う後ろ向き研究です。生存期間や疾患におけるリスク因子を統計解析を用いて評価します。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、画像検査結果等 試料・情報の管理責任者： 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
利用または提供を開始する予定日	2019 年 4 月 8 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
その他	ありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5222 広島大学大学院医系科学研究科消化器移植外科学 准教授 小林 剛